

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
④安全・安心な暮らしの確保	鳥獣被害対策	・農作物への被害が多発しているほか、住宅街への出没も増えており、住民の生活環境へ影響を及ぼしている。

市町名	大学・高校等に期待する取組
三次市	若い狩猟者の育成・確保が課題となっている。若い狩猟者の育成・確保につながる取組を検討していただきたい。
海田町	現状、地域の駆除班と連携して対策を行っている。鳥獣被害対策への理解を深める取組を検討していただきたい。
坂町	駆除や防護に有効な策を検討していただきたい。
世羅町	空き家に生息しないような取組や対策を研究していただきたい。
岩国市	自身の専門分野・学術性を活かし、ICT活用やジビエ利用促進、地域との連携など、多角的な視点から課題解決に向けた取組を検討していただきたい。
上関町	狩猟免許取得経費等補助金や有害獣捕獲奨励補助金等を行っているが、これから人材も減ることが予想される。そういった中で鳥獣被害に対する効果的な対策を検討していただきたい。
浜田市	中山間地域においては、産業構造の変化により山林の荒廃が進み、人口減少・高齢化により放任果樹、耕作放棄地が増加していることから、餌を求めて獣が出没しやすい環境となっている。獣害を防止するには、①農地侵入防止策、②集落環境整備、③有害捕獲に取り組む必要があるが、担い手不足により、獣害対策が進まない状況である。これらを踏まえて、効果的かつ持続可能な被害防止対策の取組みについて、検討していただきたい。
出雲市	当市の被害額の多くを占めるのがイノシシ被害である。捕獲強化を進めているがイノシシの生息数が不明のためその効果ははかれないでいる。このため、衛星等を使い市内全域のイノシシ生息数を正確に計測していただきたい。
益田市	科学的知見の活用や地域理解の促進、将来の担い手育成が重要となっている。このため、出没情報や被害状況の整理・分析及び可視化による対策立案、防除技術やICT活用等に関する調査・研究への参画、地域課題学習や普及啓発活動を通じた住民理解の促進、若い世代の関心を高めることによる将来的な担い手の確保を進める必要があります。この取組により、根拠に基づく効果的な対策の推進と、持続的な地域体制の構築に繋がるよう検討していただきたい。